



ロータリーに輝きを

FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報
 例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：池ノ谷 敏正 副会長：森下 敏顯 幹事：鈴木 舜光 副幹事：大長 昭子

第2066回

- ソング 我が藤枝ロータリー
- ソングリーダー 山田 賀昭君



【コスモス】

写真提供：櫻井 龍太郎

会長報告

池ノ谷 敏正君

皆さんこんにちは。

本日は、ロータリー財団委員会の米山奨学金担当の卓話です。入会年の浅い会員



はもとより、ベテラン会員でも何となく知っているつもりの米山奨学金について、改めて勉強するいい機会ではないでしょうか。本日の卓話で、より理解を深めたいと思います。

ところで、去る10月24日、第3回会長幹事会が開催され、私と鈴木幹事で出席してきましたのでご報告いたします。

まず、ガバナー補佐より、当分区のガバナー公式訪問がすべてつつがなく終了した旨のお礼と報告がありました。

その後、各クラブの現況報告が行われました。もうほとんどの行事を終了したクラブもあれば、年明けから忙しくなるクラブもあり、それぞれではありますが、どのクラブも順調に活動しているとの報告がなされました。わがクラブも、未来の夢計画事業が現在進行中である旨を報告いたしました。

続いて、毎月発刊され、皆さんに配布されているガバナー月信についての話題が出ました。ガバナー月信12月号の表紙写真が第5分区の担当に当たっているのだそうです。毎月富士山の写真を掲載している訳ですが、12月号は当分区会員の写真が使われることになります。もし、掲載希望の方がありましたら、ガバナー補佐事務所へ送ってほしいとの依頼でした。

写真同好会の方をはじめとして、これぞとい

う自慢の富士山写真をお持ちの方は、ぜひチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

また、来年の話とはなりますが、2015年3月1日の日曜日、今年納涼例会を行いました静岡市のグランディエールブケ東海において第5分区のIMが予定されています。静岡クラブが主幹となりますが、各クラブ会員の50%強の登録を予定しているとの発表がありました。年明けには、実行委員長や役員の方がそれぞれのクラブを訪問して、登録の依頼をするとのことでしたが、当クラブも会員の半数の方のご参加をいただかなくてはなりそうです。

まだまだ先のことはありますが、今のうちより予定に入れておいていただきまして、参加協力いただけますようお願いいたします。

幹事報告

大長 昭子君

・第2620地区より

11月ロータリーレートのお知らせが届いております。 1\$ = 106円です

出席報告

松葉 義之君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
30/42 71.43%	38/42 90.48%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○河井君 ○杉山君 ○鈴木舜君 ○間野君
池谷君 江崎晴君 大杉君 落合君 鈴木邦君
平野君 村松君 仲田晃君

(2)メイクアップ者

杉山 静一君(静岡) 松葉 隆夫君(静岡)

■ ビジター

井上 勝彦君（島田）

■ ポリオプラス寄付金

ポリオ撲滅活動へのご協力有難うございます。

本日寄付金額 3, 7 0 7 円

寄付金累計額 5 6, 1 5 1 円

■ 米山奨学金担当卓話

23.1 米山記念奨学会のあゆみ

23.2.1 日本最大の民間奨学事業

ロータリー米山記念奨学会は、全国のロータリアンの寄付金を財源に日本の大学、大学院をはじめとする高等教育機関で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。年間の奨学生採用数はおよそ 800 人、事業費は 14.4 億円

（2008 年度決算）と、国内では、民間最大の奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は累計で、15,130 人（2009 年 4 月現在）、その出身国は、世界 116 の国と地域に及びます。

23.2.2 世話クラブカウンセラー制度

奨学金による経済的支援だけでなく、ロータリーとの深い交流と精神的ケアを重視しています。奨学生一人ひとりに、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、ロータリーとの交流の起点となります。さらにその会員の中からカウンセラーが付いて日常の相談役となり、奨学生の留学生活が心豊かなものになるように配慮しています。例会に参加したり、地域の奉仕活動を体験できるのもロータリーならではのことで、奨学生には、かけがえのない経験となると同時にロータリアンにとっても、米山記念奨学事業の意義を実感し、理解を深める機会となっています。

23.3 米山学友

米山学友（元米山記念奨学生）と現役奨学生によって組織される会です。米山学友会活動は、学友（元米山奨学生）および現役奨学生がロータリアンとの交流を深め、ロータリーの理想とする国際交流・親善および平和の創造と維持に貢献することを目的とします。現在、日本に 30（34 ロータリー地区）、海外に 3（台湾・韓国・中国）、計 33 学友会があります。学友会は、奨学期間終了後もロータリーとの絆を結び、学友同士の友情を深める役割を果たしています。

それぞれの学友会によって活動内容は異なりますが、地区米山奨学委員会やロータリアンと連携して交流を深める様々なイベントを企画し、活動しています。運営は、米山学友によって自主的に行なわれ、ロータリアンおよび米山奨学会が協力・支援します。関係するロータリー地区との協力、連絡体制の強化はもちろんのこと、学友・奨学生とロータリアンとが相互に影響しあえる人間関係の構築が望まれます

23.4 奨学金プログラム

奨学金一覧（2010 学年度）

ロータリー米山 記念奨学金一覧 月額 概要 人数

1. 学部課程（YU） 10 万円 大学・大学院生対象の代表的なプログラム 793 人 枠
2. 修士課程（YM） 14 万円
3. 博士課程（YD） 14 万円
4. 地区奨励 7 万円 短大・高専・専修学校などの在籍者対象。1 名枠で 2 名採用可
5. クラブ支援 14 万円 現役奨学生の期間延長制度（世話クラブ推薦・半額負担）
6. 現地採用 7 万円 途上国の優秀な人材を日本へ招へい ※2010 学年度は募集停止 5 人（継続者）
7. 海外学友会推薦 14 万円 韓国・台湾学友会が募集・選考する上級研究員招へい制度 2 人

＜奨学生の募集・選考方法 上記1～4のプログラムに適用＞

- ・地区選考委員会が決定する指定校から優秀な留学生を推薦してもらい、それらの候補者を地区のロータリアンが面接・選考します（指定校推薦制度）。地区外の学校を指定校にすることも可能です。
- ・統一された応募資格以外に「医学系の学生」や「1カ国の割合を〇〇%以下に」といった地区独自の要望（選考の目安）を指定校へ提示し、支援したい学生を推薦してもらうことができます。

＜選考スケジュール＞

- 7月 地区で指定校決定
- 8月 指定校・募集要項発表（HP掲載）
- 10～11月 指定校からの申込期限（10月15日）
書類審査（奨学会）
書類審査（地区）
- 12～1月 地区にて面接試験実施
(12月10日～)
- 1月～2月 合否通知
(地区の合否報告順に送付)
- 4月 オリエンテーション

(担当／菅原君)